



改革21

質問者

ふじいよしあき
藤井義明議員



所属議員

くらもとたかふみ
藏本隆文議員

坂本産業区域外からゴミ搬入

〔質〕 令和5年11月30日に、〇〇会社の鳥用飼料を積んだ運搬車が井原市高屋で事故を起こし、鳥用飼料10・7トンがゴミとなり里庄町にある焼却施設に12月7日と8日に分けて搬入され焼却された。このことを改革21は「議会通信」で報じた。

〔質〕 讃志会が発行した、令和6年2月の「讃志会だより」では、改革21が発行した「議会通信」の記事は「捏造」「でっち上げ」「悪口ビラ」と記載されていた。ゴミの搬入問題、干拓の負担金、これは事実だと思えるが見解を尋ねる。

〔答〕 搬入事実については間違いはない。

ジビエの活用はしない！

〔質〕 イノシシの捕獲数は、年間約1500頭にもなり、多くのイノシシが焼却処分されている。これらをジビエとして活用することはできないか尋ねる。

〔答〕 ジビエ肉の継続的な供給先と、専門的な処理施設の整備や人員の確保に係る経費など、コスト面から行うことは難しいと考えている。

〔質〕 捕獲員がくくり罠にかかったイノシシに襲われる事故が発生した。地域住民組織に対し、くくり罠による捕獲は禁止してはどうか。

〔答〕 今回の事故については非常に重く受け止めている。今後のくくり罠の使用については十分な検証を行った上で、地域住民組織の皆様が安全に捕獲活動を行える見通しが立つまでは、使用停止を継続したいと考えている。

市政の振り返りについて問う

〔質〕 本市の人口減少の原因と対策について尋ねる。

〔答〕 若者が働く場所を求めて本市から出て行くことで急激な人口減少につながった。今後も税収等の自主財源の確保に努めたい。

〔質〕 人間関係の希薄化による孤立、孤独の問題について取組を尋ねる。

〔答〕 笠岡市孤独・孤立対策官民連携プラットフォームを設立し、相談支援を行っている。体制の強化とサポーターの養成に努める。

〔質〕 行政サービスのデジタル化について尋ねる。

〔答〕 LINE申請等、業務を効率化できるシステムを導入した。



創政みらい

質問者

もりおかさとこ
森岡聡子議員



所属議員

あまの きいちろう
天野喜一郎議員
くわた まさあき
桑田昌哲議員
おおつき たかし
大月隆司議員
にしなふみひで
仁科文秀議員
くりお のりこ
栗尾典子議員

これからの笠岡市について問う

〔質〕 後期高齢者が増加する中、介護問題とそれに伴う財源について考えを尋ねる。

〔答〕 年齢と介護ニーズは高い関係にあり、年齢を重ねるごとに介護ニーズは増え、介護費用の負担はさらに高くなると見込まれる。

〔質〕 認知症基本法施行に伴う本市の新たな取組について尋ねる。

〔答〕 認知症施策の推進、地域の支え合いと権利擁護の推進を強化していく。

〔質〕 本市の担い手問題について尋ねる。

〔答〕 多様な人々が参加しやすい環境の整備が重要である。